

北海道動物の愛護及び 管理に関する条例（抜粋）

（目的）

こやふんによるマークイングは、縄張りを守るために欠かすことのできない大切な示威行為で、ただやみ雲に排せつをしているではありません。毎日、欠かすことなく決まったところでマーキングを行うことが大切なのです。

では、その毎日行われるマークイングポイントが、自分の玄関先で、毎日、犬のふんがあつたら、どうでしょう。おそらくほとんどの人が不愉快に感じるはずです。これは、玄関先だけのことではなく道路についても同じです。犬を散歩させるのは飼い主として当然の行為であり、また犬の健康面から見ても散歩を欠かすことはできません。そして、犬を散歩させるときは、犬のふんを処理するためのスコッップやビニール袋を持ち、犬をロープにつないで散歩することも欠かすことのできない飼い主としての責務なのです。

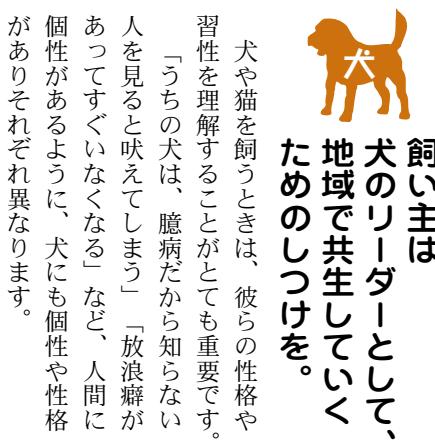
飼い主は、犬が集団生活の中でリーダーに従うという習性を理解し、飼い主がリーダーとなつて、犬にしつかりしつけをし、愛犬が人に危害を加えたり、まちの景観を汚したりしないようリーダーの責務を果たしていかなければなりません。

（道民の責務）

第4条 道民は、動物が命あるものであることを認識してその愛護に努めるとともに、道が実施する動物の愛護及び管理に関する施策に協力する責務を有する。

（飼い主の責務）

第5条 飼い主は、命あるものである動物の飼い主としての責任を十分に自覚し、その動物の本能、習性等を理解して適正に飼養（保管）を含む。（以下同じ。）することにより、その健康及び安全を保持するとともに、動物が人の生命、身体若しくは財産を侵害し、又は人に迷惑を及ぼすことのないように努めなければならない。



飼い主は 犬のリーダーとして、 地域で共生していく ためのしつけを。

では、犬や猫を飼っている人たちはどんなことをしなければならないのでしょうか。

めることです。

では、犬や猫を飼っている人たちはどんなことをしなければならないのでしょうか。

もちを焼く。愛情を独占したい」。
これが犬の習性です。

また、多くの犬には適度な運動が必要であり、運動が不足しているとストレスがたまり、ちょっとしたきっかけで突然、人にかみ付いたり、飛び掛けたりすることがあります。

飼い主の多くは、そんな悲劇が起こらないよう、犬の運動とストレス解消のための散歩を行っています。実際、まちを歩けば、犬の散歩をさせている方をすぐに見つけることができます。

そして、犬を散歩させる際、守らなければならぬルールをすっかり忘れている飼い主をすぐに見つけることができるのも事実です。

犬や猫を飼うときは、彼らの性格や習性を理解することがとても重要です。「うちの犬は、臆病だから知らない人を見ると吠えてしまう」「放浪癖があつてすぐなくなる」など、人間に個性があるように、犬にも個性や性格がありそれ異なります。

そして、習性。

「飼い主に深い愛着をもち、服従する」「警戒心が強く、縄張りを守る」「走るものを見つける」「やき

